

性と健康を考える女性専門家の会では、会員間での専門知識の共有のため、定期的に勉強会を開催しています。会員以外の方でもご参加いただけますので、ご興味を持たれた方は是非お気軽にご参加ください。

2014 年度 第 1 回勉強会「ピルと血栓症～安全に、安心して使用するために～」

日時 : 2014 年 4 月 26 日 (土) 17 時～19 時

会場 : 榊朝日エル会議室 (〒104-0045 東京都中央区築地 2-12-10 築地MFビル 26 号館 5F)

参加費 : 会員 500 円 非会員 1000 円 学生 500 円

※ 会員に限り、勉強会内容を録画したDVDを販売いたします。(送料・税込 600 円)

申し込み : お名前、ご所属、会員／非会員ご連絡先を明記の上

「性と健康を考える女性専門家の会」事務局までメールでお申込ください。

pwcs@ellesnet.co.jp

プログラム

講義 1 「低用量ピルと血栓症」バイエル薬品株式会社 学術部 佐々木 恵

講義 2 低用量ピルを安全に使用するために ～臨床における血栓症リスク対策の実際～

性と健康を考える女性専門家の会 副会長

四季レディースクリニック 院長 江夏 亜希子

性と健康を考える女性専門家の会は、「ひとりひとりの女性が満足できる女性医療とはなにか、医療・保健システムに女性の視線を生かし、男女ともに生き生きと幸福に暮らせる社会をつくりたい」という願いを持つ医療者・学者・教師・ジャーナリストなどにより、低用量ピルの認可問題をきっかけに 1997 年に発足し、1999 年に低用量ピルが認可、発売された後も、継続的にピルの普及、安全処方法の推進を勧めて参りました。2008 年には低用量ピルと同成分のエストロゲン・プロゲステロン配合剤 (LEP 製剤) が月経困難症治療薬として保険適応となるなど、ようやく本邦でも低用量ピルの恩恵を受けられる女性が増えてきました。しかし、その矢先。2013 年末に低用量ピルの副作用である静脈血栓症による死亡例が報道され、内服している本人はもちろん、処方や内服指導をしている医療関係者にも大きな衝撃が走っています。

当会でも、日本産科婦人科学会の見解 (※) と同様、低用量ピル (LEP 製剤含む) の有益性は大きく、女性の QOL 向上に極めて効果的であるということは間違いないと考えています。そのメリットと、生命に関わる副作用である静脈血栓症のリスクというデメリット

ットについて、専門家としてどのように理解し、女性たちに説明すべきなのでしょうか。

女性たちが安全に、安心してピルを内服・継続できるようなサポートについて、一緒に学びましょう。

※日本産科婦人科学会 「低用量ピルの副作用を心配しておられる女性へ」

http://www.jsog.or.jp/news/html/announce_20131227.html